

調査部報告

調査部の充實は、極めて重要なものである。殊に罷業開始にあたり其時機の適否の判断、開始後に於いても策戦上に肝要な役割をなすものである。然れども之が充實には、多くの経費と努力を要するので本

川口支部	増金鑄工所	解雇反對	四六	四一	五三	二、七〇三	協	六井堀
澁谷第一支部	佐野鐵工所	解雇反對	四六	四二	三一	三三六	有利	原
芝浦第二支部	東京鐵骨橋製作所	組合解雇待遇改善	五二	五七	一六	二二	不利	原
川口支部	兒玉鑄工所	工場閉鎖	七七	七一	五九	一、二二五	不利	井堀
砂町第一支部	東京亞鉛鍍金會社	値下老朽陶汰	七七	七一	一五	二五	不利	原
大島第三支部	東京トタン板製造所	工場閉鎖	七二	七四	一四	二四五	協	熊本
直屬	帝國ゼンテ製造株式會社	解雇反對	四四	四九	一一	一一	有利	藤原
川口支部	芝貝鑄工所	解雇反對	五五	四一	一三	三七	有利	井堀
堀切支部	前田鐵工所	組合解雇	五五	五八	九	五	開争中	齊藤
川口支部	増芳鑄工所	解雇反對	四四	六二	九	五	不利	山下
川口支部	増芳鑄工所	解雇反對	八	八	五	四	不利	井堀

日數總計 一、一五〇日 参加人員總計 一、一六五人 延 人員 四八、八六八人
工場閉鎖及事業縮小ニ依ル解雇者 一五五人 争議ニ依ル解雇者 六七人

年も充分なる能率を發揮し得なかつたことは遺憾である。
本年に於ける主なる調査は、
(1) 關係會社工場の解、退職手當規定の調査。
(2) 團體協約權確立工場に關する調査。
(3) 労働爭議事情に關する調査。
(4) 選挙戦に於ける調査。
(5) 各支部の労働條件の高低に關する調査。
大體右の如くであるが、解退職手當規定に關しては、大體に標準十ヶ支部のものの一覽表にして發表するまでに至つた。尙各支部は此不況時にあたり、其の工場の本系統及重役關係を充分に調査されん事を切望するものである。

事業部報告

事業部として行ひつゝあるものは、其濟・購買であるが之を本部が直接行ふのでなく支部に設置されたものと連絡統一を計るに過ぎない。殊に其濟事業は、昨年度より支部に一任する事となつて現在事務を扱つて居るものは川口支部のみであるが之は豫期の好成绩をあけつゝある。(會計報告其濟部参照)
次に購買即ち消費組合であるが、川口支部に於ける、埼玉縣第一區消費組合は、押よせた、不況の爲め甚だ振はざる情態にあるが、大崎支部聯合を中心とする、大崎消費組合は、逐年發展し本年一月廿八日東京府より産業組合法に依る認可を得て、二月四日役員總會を開き名稱をも大崎消費購買組合と改稱して一段と基礎を固め荏原町、品川町、大井町、目黒町、澁谷町に亘つて發展をなしつゝある。其の成績の一端を示せば次の通りである。

大崎消費購買組合年次成績表

科 目	第一年度(十一月)	第二年度(一ヶ年)	第三年度(一ヶ年)	第四年度(一ヶ年)	第五年度(七ヶ月)
合 員 數	一八八名	一〇一名	九四名	一四四名	二七